

校外教育



研究紀要

研究主題


地域・校外による協働的な学びから
創発作用を生み、
生徒の自信を高める

～「輝く、平方プライド」の醸成～

平方プライドの醸成

—自信を持って生きる児童生徒の育成—

 5つの心構え	 1 夢・自信	 2 学び	 3 自守	 4 他者尊重	 5 交流・発信
 5つの行動	 1 輝くまなざし あきらめない 人と関わりを大切にしたい	 2 あらゆる状況で 学習機会と 学びの成果を高める	 3 実践を軸とし 知識と行動を結びつけ	 4 相手の思いや 視座力と 受け入れるための 開き方を身につける	 5 挨拶から始める 人との良好関係を築く

 越谷市立平方中学校

埼玉県越谷市平方2115

TEL 048-977-3451 FAX 048-977-3469

学校HomePage: <http://school.city.koshigaya.saitama.jp/>

学校Twitter: @hirakata_chu 学校Instagram: hirakata.jh



本校の現状と実態から

- ・越谷市の北部の田園の多い地域で穏やかな土地柄の立地
- ・おとなしく素直、家庭で温かく見守られている生徒が多い
- ・新たな関係づくりや主体的、自主的な活動は苦手、学びへの欲は低い傾向がある
- ・地域、家庭は保守的傾向であるが、協力的傾向は強い

ねらいと研究のテーマ **日本全国**

校外は

校外も豊かな「学び場」(VVA! : イタリア語で「喜び、万歳!」)

校外外で多くの出会いを意図的に創出し、「交流・対話・発信」の機会を設定する中で、生徒の主体的活動や深く考える機会により社会に対応する力を鍛える

学校教育目標

輝く、平方プライド

"The pride comes from inside."
「平方プライドは一人ひとりの内面から始まる」

「5つの心構え」と「5つの行動」が平方プライドをつくる

「平方プライド」とは、夢や自信を持つこと、学ぶこと、自らの身を守ること、他者を思いやること、人とかかわり良い関係をつくること、5つの心構えと行動が自然に出る姿をいいます。生徒はもとより、教職員、保護者、地域もそのような生徒の姿に自信が持てること。

みんなで築こう「平方プライド」

校外教育を取り入れた学校経営スクールプラン(カリキュラム・マネジメント構想)

多様な交流・対話・発信から生徒の自信と誇りをつくる

多様な校外連携と小中一貫研究発表の成果から教職員の自信と誇りをつくる

良さのさらなる伸長と課題の改善に向けて

「自分のことが好きである」「自分に自信がある」
H27.1学期校内アンケート調査
半数の子供の自己肯定感が低い

52%

「学ぶことが好きである」
H27.1学期校内アンケート調査
学びに対する主体性が低い

39%

これからの社会に対応するためにつけたい力

- ・良好な人間関係を築く力
- ・情報を適切に扱う力

2030

地域・校外による協働的な学びから創発作用を生み、生徒の自信を高める

研究・実践過程での成果と課題、そして展望

2学年 総合の時間

『幼児をオリジナル絵本で楽しませる』
幼児とのふれあい、福祉、職業観

- ・美術科におけるオリジナル絵本製作
- ・家庭科パペット人形製作と保育実習における人形劇実演経験
- ・学校司書から読み聞かせ実習体験
- ・幼稚園における読み聞かせ実践

幼児教育の情報拡散、地元中学校との多面的な交流
まどか幼稚園、学校司書

3学年 総合の時間

『私たちの生活に生きる「和のこころ」を見直す』
国際理解、多様性の需要、自らの生き方を見つめる

- ・文教大学海外留学生アンケート
- ・修学旅行を活かした取材とまとめ
- ・学区小学生との成果を基にした「かたれVA!」
- ・マナー講師からの「和のこころ」を学ぶマナー講座体験
- ・海外留学生との交流会

大学、企業の教育現場との連携、学び・体験のステージ拡大
文教大学、京都・奈良、マナー講師派遣企業等

4学年 総合の時間

『つづれVA!』『かたれVA!』のねらいや成果を授業等で共有

- ・小中一貫教育研究の発展的継続
- ・学校、学年行事、諸活動、部活動の改善

教職員のプライドとモチベーションの向上、ベクトルの統一
文化庁、各大学、企業、メディア、NPO等

5学年 総合の時間

『ふれあえVA!』『かたれVA!』のねらいや成果を授業等で共有

- ・小中一貫教育研究の発展的継続
- ・学校、学年行事、諸活動、部活動の改善

学力向上 自己肯定感の高揚 中1ギャップの解消

学習意欲「学べる機会には学んでみたい」

67% → 87%
H27年度当初調査 H29年度1学期末調査

自己肯定感「自分の個性を大切にしている」
69% → 84%
H27年度当初調査 H29年度1学期末調査

〈何ができるようになるのか〉
学びに向かう力・人間性等の涵養
「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

1 夢・自信 5つの心構え 5つの行動

2 学び 平方プライドの醸成
「自信を持って生きる児童生徒の育成」

3 自守

4 他者尊重 5 交流・発信

〈何を学ぶのか〉
知識・理解の習得
「何を理解しているか」「何ができるか」

各教科等の授業における「学び合い・高め合い」
授業の中でも協働的な学びを重視し、交流、対話、発信の機会を意図的に設定

教科と総合の時間、道徳と学校行事などの連携を図り、校外との協働作用へとつなげる「ふれあえVA!」の構築

「つづれVA!」「かたれVA!」のねらいや成果を授業等で共有

小中一貫教育研究の発展的継続
学校、学年行事、諸活動、部活動の改善

「つづれVA!」情報を用いて読み解く力や思考する力のトレーニング

「かたれVA!」他者と交流し、協働することを通して、課題解決につながる納得感等を導く力のトレーニング

平方中「健康・英気・家族」のための働き方改善、カリキュラム・マネジメント「水曜7時帰宅」「コンケア」

平方小学校、桜井小学校との小中一貫教育研究成果の継承と課題解決に向けた発展的研究の継続

求める姿・ベンチマーク

- ・「学びへの意欲」「自己肯定感」の項目を9割超え
- ・「他者尊重」「関係づくり」への意欲向上を9.5割
- ・自らの考えや思いの表現、プレゼン力の向上をめざした機会の創出
- ・不登校発生率0.015以下をめざす多角的な教育相談体制の充実

2学年 学校行事

Cheer Fukushima

福島県南会津郡津町から

「農家の方とのふれあい・交流から差別や偏見まで意識を広げる」
受入れ農家・自然とのふれあい、公正・公平な心

- ・福島に未だ残る差別や偏見に関わる公正、公平な心の学び(道徳、学活等)
- ・2泊3日の民泊体験を通じた交流
- ・農家、福島の方とのふれあいから他者との関係づくりと自分自身等の発信の学び
- ・体験を経ての達成感の獲得

地域復興・町おこし、受入れ農家の活性化
福島県南会津町、地域NPO

〈どのように学ぶのか〉
思考力・判断力・表現力の伸長
「理解していること、できることをどう使うか」

多角的・複線的な情報発信
子供も大人も使うことで良さを体感し、有効に使う心と術を学ぶ

- ・各種ICT機器の活用
- ・学校HP、ツイッター、インスタグラム、メール等の配信
- ・LINEスタンプ制作、LINEグループによるWeb身守る帳等独自の実践展開

1学年 総合の時間

Suteki paper

桜井・平方

『桜井・平方地区のよさを発見し、PRをする』
地域・環境・安全・地域を知り、親しむ

- ・地区センター、自治会、ゴミ協等を通じた地域の良さのアンケート
- ・推薦された場所の選抜、取材
- ・退職校長会、地域有志の協力、支援
- ・取材結果のまとめ、発信準備
- ・SNS(Instagram)活用の発信
- ・地区センター主催の地域の方との交流会での発信

地区センター・公民館事業と学校現場との連携、地域活性化
地区センター・公民館、自治会、コミュニティ協議会、地域各所等

小中一貫教育の実践成果と社会関係資本を活かし、 学びに向かう力・人間性等の涵養を図る

校外教育が生み出す創発作用

道具（言語、情報、知識等のツール）を使って相手と積極的に関わる
他者とうまく関係づくりをする
他者と関係しながら自分を上手に創出する

～平方プライドの醸成～ 子どもに自信をつける

未来に生きる3つの力（21世紀型スキル）の醸成をめざして

幼児をオリジナル絵本で楽しませる



自らが作成したオリジナル絵本を持参し、幼稚園の園児に読み聞かせを行う。その成果を生活に活かす。

連携先：まどか幼稚園、学校司書
日程：オリジナル絵本製作（1学期～2学期の美術授業）、学校司書による読み聞かせ体験（1月上旬）、幼稚園訪問読み聞かせ（1月中旬～下旬）
交流活動：美術の授業において、オリジナル絵本を各自作成している中で、家庭科保育実習での交流を実施し、体験を活かす。本校学校司書による読み聞かせ体験を全2年生が自ら体験し、その技術や心得を学ぶ。幼稚園訪問で自分の絵本を読み聞かせ、幼児とふれあう。
発信：体験結果のまとめ、発表。



越谷から離れ農村に民泊体験することで、人、自然、文化等とのふれあいから得た学びを個人学年に活かす。

福島でリアルふれあい体験～応援へ



連携先：福島県南会津農家、NPO
日程：事前学習（7月）、道徳や学活における意識高揚（6～7月）民泊実施（9月上旬、2泊3日）
交流活動：2泊3日の民泊受け入れ農家とのふれあいや農業体験、福島とのふれあい
発信：民泊体験をまとめた壁新聞づくりにおける発表、学校集会や保護者会等での発表、学校ホームページ、ツイッターなどを通じての発信。小学校や地域へ「かたれVA」（テーマを持った対話活動）にも発展させていく。



交流

学校教育目標

輝く、平方プライド

仲間や多くの人との交流を通して、学んだこと、得たこと、気づいたこと、考えたこと等を活用し、まとめ、発信することで、成就感、自信を得る。情報リテラシーも鍛える。

地域のよさ発見・PR大作戦



連携先：桜井地区センター、桜井地区コミュニティ協議会、地区自治会、退職校長会等
日時：7月取材、10月SNS発信、3月地域協議会での交流発表会。
交流活動：地域のスポット、名所、店等のよさを集め、短文紹介を入れPR発信をし、交流と地域の活性化を図る。地域から情報収集、取材、まとめ、発信。取材をスムーズに重むための地域の協力を得る。
発信：インスタグラムでまとめ発信。対面で地域との交流発表会。

対話

昨年度の「地域の危険個所を発見」の成果を活かし、地域と連携した良さを発見、SNSと対面の発信を行い、自己肯定感を高める。



発信

現代社会に和のところがどのように生きているのか。海外留学生や外国人旅行者や自らの取材を通して、自分たちの生活に生きる和のところを探り、将来に活かす。



私たちの中の「和のこころ」を見直す



連携先：文教大学留学生別科、マナー講師派遣企業、平方小、桜井小
日時：アンケート調査（5月）、修学旅行（1学期）、小学校との対話活動「かたれVA」（7月）、マナー講座・留学生との交流会（2月）
交流活動：海外留学生の事前アンケート、修学旅行時の調査、マナー講座からの学びと海外留学生との交流。
発信：小学生や留学生に学び得た情報の対話交流や発信。

第1学年

こうした取組により生徒たちの対話力、発信力の勢いを感じ始めている。自己肯定感を持つ生徒の割合が52%から86%にアップしている。協働先の開発と趣旨・ノウハウの組織的継承を課題とし、邁進したい。

第3学年